

**IBM InfoSphere Blueprint Director**  
バージョン 11 リリース 3

# インストール・ガイド





**IBM InfoSphere Blueprint Director**  
バージョン 11 リリース 3

# インストール・ガイド



**お願い**

本書および本書で紹介する製品をご使用になる前に、13 ページの『特記事項および商標』に記載されている情報をお読みください。

お客様の環境によっては、資料中の円記号がバックスラッシュと表示されたり、バックスラッシュが円記号と表示されたりする場合があります。

原典： SC19-4250-00  
IBM InfoSphere Blueprint Director  
Version 11 Release 3  
Installation Guide

発行： 日本アイ・ビー・エム株式会社

担当： トランスレーション・サービス・センター

© Copyright IBM Corporation 2011, 2014.

---

## 目次

<b>IBM InfoSphere Blueprint Director のインストール</b> . . . . .	<b>1</b>	<b>付録 A. 製品のアクセシビリティ</b> . . . . .	<b>7</b>
IBM InfoSphere Blueprint Director クライアントのスタンドアロン・アプリケーションとしてのインストール . . . . .	1	<b>付録 B. IBM の窓口</b> . . . . .	<b>9</b>
既存の製品への IBM InfoSphere Blueprint Director クライアントのインストール . . . . .	3	<b>付録 C. 製品資料へのアクセス</b> . . . . .	<b>11</b>
既存の IBM InfoSphere Blueprint Director クライアント・インストール済み環境におけるタスク管理の統合の使用可能化 . . . . .	5	<b>特記事項および商標</b> . . . . .	<b>13</b>
インストール済み製品パッケージの変更 . . . . .	6	<b>索引</b> . . . . .	<b>19</b>



---

## IBM InfoSphere Blueprint Director のインストール

InfoSphere® Blueprint Director を使用して、初期スケッチから配信までの情報プロジェクト・ランドスケープのブループリントを定義および管理することができます。

### InfoSphere Blueprint Director サーバーのインストールの概要

InfoSphere Blueprint Director サーバーは、IBM® InfoSphere Information Governance Catalog をインストールすると、自動的にインストールされます。このサーバーを構成する必要はありません。

### InfoSphere Blueprint Director クライアントのインストールの概要

InfoSphere Blueprint Director クライアントは、スタンドアロンのクライアント・アプリケーションとしてインストールできます。あるいは、サポートされている Eclipse ベースの他の製品にインストールすることもできます。

---

## IBM InfoSphere Blueprint Director クライアントのスタンドアロン・アプリケーションとしてのインストール

IBM Rational Team Concert™ のタスク管理機能と統合するかしないかにかかわらず、InfoSphere Blueprint Director クライアントをスタンドアロン・アプリケーションとしてインストールすることができます。

### 始める前に

Microsoft Windows オペレーティング・システムで、IBM InfoSphere Information Server の システム要件に準拠する必要があります。

スタンドアロン・アプリケーションをタスク管理機能と統合するには、IBM Installation Manager ユーティリティを使用して IBM Rational Team Concert バージョン 3.0 以降をインストールする必要があります。

### 手順

1. IBM Passport Advantage® Web サイトから、InfoSphere Blueprint Director のインストール・ファイルを一時インストール・ディレクトリーにダウンロードします。インストール・ファイルは圧縮形式になっています。
2. インストール・ディレクトリーに移動し、圧縮ファイルの内容を抽出します。
3. 使用しているマシンに IBM Installation Manager バージョン 1.7 が既にインストールされている場合は、以下のステップを実行します。
  - a. IBM Installation Manager を開きます。
  - b. 「ファイル」 > 「設定...」 > 「リポジトリー」 > 「リポジトリーの追加」をクリックします。
  - c. インストール・ディレクトリーで、ディレクトリー %bd\_repo%36 までブラウズします。

- d. 「**repository.config**」を選択して「**OK**」をクリックし、その後、「**OK**」をクリックします。新しいリポジトリの場所がリストに追加されます。
  - e. 「**OK**」をクリックして、「設定」ページを閉じます。
  - f. Installation Manager のランチパッドで、「インストール」ボタンをクリックします。
  - g. ステップ 5 に進みます。
4. 使用しているマシンに IBM Installation Manager バージョン 1.7 がインストールされていない場合は、インストール・ディレクトリー内の「**launchpad.exe**」をダブルクリックしてインストール・ウィザードを開始します。
- a. Rational Team Concert と統合するかどうかを選択します。

インストールのタイプ	実行する操作
スタンドアロン・アプリケーション	「スタンドアロン・アプリケーションとしてインストール」チェック・ボックスを選択します。
タスク管理統合を伴うスタンドアロン・アプリケーション	「スタンドアロン・アプリケーションとしてインストール」チェック・ボックスをクリアします。

- b. 「**Blueprint Director インストーラーの起動**」リンクをクリックし、IBM Installation Manager ウィザードを開始します。
5. 「パッケージのインストール」ページで、インストールしたいパッケージを選択して「次へ」をクリックします。

#### InfoSphere Blueprint Director

このパッケージは、常に選択する必要があります。

#### IBM InfoSphere Information Governance Catalog for Eclipse

このチェック・ボックスをクリアすると、カタログ内のカテゴリーと用語にアクセスすることができません。

6. 「ライセンス」ページで、ライセンス条件に同意する場合は「条件に同意します」をクリックし、「次へ」をクリックします。それ以外の場合は、「キャンセル」をクリックしてインストール・ウィザードを終了します。
7. 「ロケーション」ページで、次の操作を実行します。
- a. Rational Team Concert と統合するかどうかに応じて、パッケージ・グループを選択します。

インストールのタイプ	実行する操作
スタンドアロン・アプリケーション	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. デフォルトの選択である「新しいパッケージ・グループの作成」を受け入れます。パッケージ・グループの名前は自動的に作成されます。</li> <li>2. パッケージ・グループのインストール・ディレクトリーのパスを入力するか、デフォルトのディレクトリー・パスを受け入れます。</li> </ol>
タスク管理統合を伴うスタンドアロン・アプリケーション	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 「既存のパッケージ・グループを使用」をクリックします。</li> <li>2. リストから「<b>IBM Rational Team Concert</b>」を選択します。</li> </ol>

- b. 共有リソース・ディレクトリーのロケーションの入力を求められた場合は、デフォルトのロケーションを受け入れてください。



- c. ご使用になっている環境が 64 ビットでも、「アーキテクチャーの選択」は 32 ビットのままにしておく必要があります。
  - d. 「次へ」をクリックします。
8. 「翻訳」ページで、インストールする InfoSphere Blueprint Director の言語を選択します。
  9. 「機能」ページで次の操作を実行し、「次へ」をクリックします。

インストールのタイプ	実行する操作
スタンドアロン・アプリケーション	リストに示されている機能を受け入れます。
タスク管理統合を伴うスタンドアロン・アプリケーション	「IBM InfoSphere Blueprint Director」ツリーで、「タスク管理の統合」チェック・ボックスを選択します。

10. 「サマリー」ページで、インストール前に選択内容を確認します。「インストール」をクリックして、パッケージをインストールします。
11. オプション: 最終ウィンドウで「ログ・ファイルの表示」リンクをクリックし、インストール・ログ・ファイルを新しいウィンドウで開きます。続行するには、「インストール・ログ」ウィンドウを閉じる必要があります。終了時に、InfoSphere Blueprint Director を始動するかどうかを選択できます。
12. 「終了」をクリックして、IBM Installation Manager ウィザードを閉じます。

## 次のタスク

タスク管理の統合をインストールした場合は、インストールが成功したことを確認します。以下の手順を実行します。

1. InfoSphere Blueprint Director を開始します。
2. メニュー・バーに、次のメニュー項目がリストされていることを確認します。
  - 「Blueprint」 > 「ワークアイテムのエクスポート」
  - 「ウィンドウ」 > 「ビューの表示」 > 「チーム成果物」

## 既存の製品への IBM InfoSphere Blueprint Director クライアントのインストール

InfoSphere Blueprint Director クライアントを既存の製品にインストールし、クライアントと既存の製品間でシェル共有を使用可能にすることができます。

### このタスクについて

InfoSphere Blueprint Director は、IBM Rational Team Concert、IBM Rational® Software Architect、IBM InfoSphere Data Architect など、他の Eclipse ベースの製品にインストールできます。

### 手順

1. IBM Passport Advantage Web サイトから、InfoSphere Blueprint Director のインストール・ファイルを一時インストール・ディレクトリーにダウンロードします。インストール・ファイルは圧縮形式になっています。
2. インストール・ディレクトリーに移動し、圧縮ファイルの内容を抽出します。

3. 使用しているマシンに IBM Installation Manager バージョン 1.7 が既にインストールされている場合は、以下のステップを実行します。
  - a. IBM Installation Manager を開きます。
  - b. 「ファイル」 > 「設定...」 > 「リポジトリ」 > 「リポジトリの追加」をクリックします。
  - c. Eclipse バージョン 3.4.2 にインストールする場合は、インストール・ディレクトリーで、ディレクトリー `¥bd_repo¥342` までブラウズします。それより新しい Eclipse のバージョンにインストールする場合は、ディレクトリー `¥bd_repo¥36` までブラウズします。
  - d. 「**repository.config**」を選択して「OK」をクリックし、その後、「OK」をクリックします。新しいリポジトリの場所がリストに追加されます。
  - e. 「OK」をクリックして、「設定」ページを閉じます。
  - f. Installation Manager のランチパッドで、「インストール」ボタンをクリックします。
  - g. ステップ 5 に進みます。
4. 使用しているマシンに IBM Installation Manager バージョン 1.7 がインストールされていない場合は、「**launchpad.exe**」をダブルクリックしてインストール・ウィザードを開始します。以下の手順を実行します。
  - a. 「スタンドアロン・アプリケーションとしてインストール」チェック・ボックスをクリアします。
  - b. 管理特権を持っている場合は、「このコンピューターのすべてのユーザー用インストール」を選択します。IBM Installation Manager ユーティリティーがインストールされていないか、前のバージョンがインストールされている場合は、このユーティリティーが自動的にインストールまたは更新されます。

**重要:** Rational Team Concert、Rational Software Architect、または InfoSphere Data Architect をアドミニストレーターとしてインストールした場合は、シェル共有を使用可能にするために、InfoSphere Blueprint Director をアドミニストレーターとしてインストールする必要があります。

- c. 「**Blueprint Director インストーラーの起動**」リンクをクリックし、IBM Installation Manager ウィザードを開始します。
5. 「パッケージのインストール」ページで、インストールしたいパッケージを選択して「次へ」をクリックします。

#### **InfoSphere Blueprint Director**

このパッケージは、常に選択する必要があります。

#### **IBM InfoSphere Information Governance Catalog for Eclipse**

このチェック・ボックスをクリアすると、カタログ内のカテゴリーと用語にアクセスすることができません。

6. 「ライセンス」ページで、ライセンス条件に同意する場合は「条件に同意します」をクリックし、「次へ」をクリックします。それ以外の場合は、「キャンセル」をクリックしてインストール・ウィザードを終了します。
  7. 「ロケーション」ページで「既存のパッケージ・グループの使用」をクリックし、次の操作を実行します。

- a. インストール先にするパッケージ・グループをリストから選択します。

製品	パッケージ・グループ
IBM Rational Team Concert	IBM Rational Team Concert
IBM Rational Software Architect	IBM Rational Software Architect
IBM InfoSphere Data Architect	IBM InfoSphere

- b. 共有リソース・ディレクトリーのロケーションの入力を求められた場合は、デフォルトのロケーションを受け入れてください。
  - c. ご使用になっている環境が 64 ビットでも、「アーキテクチャーの選択」は 32 ビットのままにしておく必要があります。
  - d. 「次へ」をクリックします。
8. 「機能」ページで、デフォルトの選択を受け入れます。
  9. 「構成」ページで、アプリケーション共有モードとして「Eclipse 統合アプリケーションとのシェル共有」を選択します。
  10. 「サマリー」ページで、インストール前に選択内容を確認します。「インストール」をクリックして、パッケージをインストールします。
  11. オプション: 最終ウィンドウで「ログ・ファイルの表示」リンクをクリックし、インストール・ログ・ファイルを新しいウィンドウで開きます。続行するには、「インストール・ログ」ウィンドウを閉じる必要があります。終了時に、InfoSphere Blueprint Director を始動するかどうかを選択できます。
  12. 「終了」をクリックして、IBM Installation Manager ウィザードを閉じます。

---

## 既存の IBM InfoSphere Blueprint Director クライアント・インストール済み環境におけるタスク管理の統合の使用可能化

以前に、InfoSphere Blueprint Director クライアントを IBM Rational Team Concert とともにパッケージ・グループにインストールしていない場合は、次の手順を実行して、タスク管理の統合を使用可能にしてください。

### このタスクについて

IBM Installation Manager を使用して、InfoSphere Blueprint Director クライアントをインストールしたのと同じパッケージ・グループに Rational Team Concert をインストールします。

### 手順

1. Rational Team Concert クライアントの IBM Installation Manager を始動します。
2. 「ロケーション」ページで「既存のパッケージ・グループの使用」をクリックし、リストから「IBM InfoSphere」パッケージ・グループを選択します。ご使用になっている環境が 64 ビットでも、「アーキテクチャーの選択」は 32 ビットのままにしておきます。プロンプトに従って、Rational Team Concert クライアントのインストール・プロセスを完了させます。
3. 必要であれば、IBM Installation Manager を始動します。「開始」ページで「変更」をクリックし、「IBM InfoSphere」パッケージ・グループを選択します。
4. 「翻訳」ページで「次へ」をクリックします。

5. 「機能」ページで InfoSphere Blueprint Director を展開し、「**タスク管理の統合**」チェック・ボックスを選択します。
6. 「構成」ページで「**次へ**」をクリックします。
7. 「サマリー」ページで、選択した内容を確認し、「**終了**」をクリックしてインストール・プロセスを完了させます。

### 次のタスク

統合が正常に行われたことを確認します。以下の手順を実行します。

1. InfoSphere Blueprint Director を開始します。
2. メニュー・バーに、次のメニュー項目がリストされていることを確認します。
  - 「**Blueprint**」 > 「**ワークアイテムのエクスポート**」
  - 「**ウィンドウ**」 > 「**ビューの表示**」 > 「**チーム成果物**」

---

## インストール済み製品パッケージの変更

IBM Installation Manager を使用して、このユーティリティーでインストールした製品パッケージを変更します。

機能や言語の選択を変更したり、更新をインストールしたり、前のバージョンに戻したりすることができます。また、IBM Installation Manager を使用して、IBM InfoSphere Blueprint Director クライアントや、IBM InfoSphere Information Governance Catalog などの関連する任意のソフトウェア・コンポーネントを削除することもできます。

---

## 付録 A. 製品のアクセシビリティ

IBM 製品のアクセシビリティ対応状況についての情報を入手できます。

IBM InfoSphere Information Server 製品のモジュールおよびユーザー・インターフェースは完全にはアクセシビリティ対応がなされていません。

IBM 製品のアクセシビリティ対応状況の詳細は、[http://www.ibm.com/able/product\\_accessibility/index.html](http://www.ibm.com/able/product_accessibility/index.html) の IBM 製品のアクセシビリティ情報をご覧ください。

### アクセシビリティ対応資料

IBM Knowledge Center には、製品のアクセシビリティ対応資料が用意されています。IBM Knowledge Center では、ほとんどの Web ブラウザーで表示可能な XHTML 1.0 形式で資料を提供しています。IBM Knowledge Center では XHTML を使用しているため、使用しているブラウザに設定されている表示形式で資料を表示できます。さらに、スクリーン・リーダーやその他の支援技術を使用して、資料にアクセスすることもできます。

IBM Knowledge Center にある資料は、PDF ファイルでも提供されますが、こちらは完全にはアクセシビリティ対応がなされていません。

### IBM のアクセシビリティに対する取り組み

アクセシビリティに関する IBM のコミットメントの詳細については、IBM Human Ability and Accessibility Center を参照してください。



## 付録 B. IBM の窓口

お客様サポート、ソフトウェア・サービス、製品情報、および全般情報について、IBM と連絡を取ることができます。また、製品についてのフィードバックを行うことができます。

次の表に、お客様サポート、ソフトウェア・サービス、研修、製品およびソリューション情報に関するリソースをリストしています。

表1. IBM リソース

リソース	説明と場所
IBM サポート・ポータル	サポート情報は、 <a href="http://www.ibm.com/support/entry/portal/Software/Information_Management/InfoSphere_Information_Server">www.ibm.com/support/entry/portal/Software/Information_Management/InfoSphere_Information_Server</a> で、製品と関心のあるトピックを選択してカスタマイズできます。
ソフトウェア・サービス	ソフトウェア、IT、およびビジネス・コンサルティング・サービスについての情報は、「ソリューション」サイト <a href="http://www.ibm.com/businesssolutions/jp/ja">www.ibm.com/businesssolutions/jp/ja</a> にアクセスしてください。
My IBM	<a href="http://www.ibm.com/account/jp/ja/">www.ibm.com/account/jp/ja/</a> の「My IBM」サイトでアカウントを作成し、特定のテクニカル・サポートのニーズに合うように、IBM Web サイトおよび情報へのリンクを管理できます。
研修と認定	個人、法人、および公共団体向けに、IT 技術の習得、維持、最適化を目的としてデザインされた技術研修およびサービスについては、 <a href="http://www.ibm.com/training">http://www.ibm.com/training</a> にアクセスしてください。
IBM 担当員	ソリューションについて IBM 担当員と連絡を取るには、 <a href="http://www.ibm.com/connect/ibm/us/en/">www.ibm.com/connect/ibm/us/en/</a> にアクセスしてください。





---

## 付録 C. 製品資料へのアクセス

資料は、オンラインの IBM Knowledge Center、オプションでローカルにインストールしたインフォメーション・センター、PDF のブックといったさまざまな形式で提供されます。製品クライアント・インターフェースから、オンラインまたはローカルにインストールしたヘルプに直接アクセスすることができます。

IBM Knowledge Center は、InfoSphere Information Server の最新情報を探すのに最適な場所です。IBM Knowledge Center には、スイートのすべての製品モジュールの全資料のほか、ほとんどの製品インターフェースのヘルプも含まれています。IBM Knowledge Center は、インストール済み製品から開くことも、Web ブラウザーから開くこともできます。

### IBM Knowledge Center へのアクセス

オンライン資料にアクセスするには、さまざまな方法があります。

- クライアント・インターフェースで、画面右上の「ヘルプ」リンクをクリックします。
- F1 キーを押します。F1 キーを押すと、通常、クライアント・インターフェースの現行コンテキストを説明するトピックが開きます。

**注:** F1 キーは、Web クライアントでは機能しません。

- 製品にログインしていないときなどに、Web ブラウザーにアドレスを入力します。

すべてのバージョンの InfoSphere Information Server の資料にアクセスするには、以下のアドレスを入力します。

<http://www.ibm.com/support/knowledgecenter/SSZJPZ/>

特定のトピックにアクセスするには、製品 ID とバージョン番号、資料プラグイン名、および URL 内のトピック・パスを指定します。例えば、バージョン 11.3 用のこのトピックの URL は以下のとおりです。(記号「⇒」は、行の継続を表します)

[http://www.ibm.com/support/knowledgecenter/SSZJPZ\\_11.3.0/⇒com.ibm.swg.im.iis.common.doc/common/accessingiidoc.html](http://www.ibm.com/support/knowledgecenter/SSZJPZ_11.3.0/⇒com.ibm.swg.im.iis.common.doc/common/accessingiidoc.html)

#### ヒント:

Knowledge Center には、以下の短縮 URL もあります。

<http://ibm.biz/knowctr>

特定の製品ページ、バージョン、またはトピックの短縮 URL を指定するには、短縮 URL と製品 ID の間にハッシュ文字 (#) を使用します。例えば、すべての InfoSphere Information Server 資料の短縮 URL は、以下のとおりです。

<http://ibm.biz/knowctr#SSZJPZ/>

また、前述のトピックの URL を少し短くした短縮 URL は、以下のとおりです。(記号「⇒」は、行の継続を表します)

```
http://ibm.biz/knowctr#SSZJPZ_11.3.0/com.ibm.swg.im.iis.common.doc/⇒  
common/accessingiidoc.html
```

## ローカルにインストールした資料を参照するヘルプ・リンクの変更

IBM Knowledge Center には、最新版の資料が含まれています。一方、インフォメーション・センターとしてローカル版の資料をインストールして、それを指すようにヘルプ・リンクを構成することも可能です。ローカルのインフォメーション・センターは、お客様の企業でインターネットへのアクセスが提供されていない場合に便利です。

インフォメーション・センターのインストール・パッケージに付属するインストール手順を使用して、任意のコンピューターにそれをインストールします。インフォメーション・センターをインストールして開始した後、サービス層のコンピューターで **iisAdmin** コマンドを使用して、製品の F1 とヘルプ・リンクで参照する資料の場所を変更できます。(記号「⇒」は、行の継続を表します)

### Windows

```
IS_install_path¥ASBServer¥bin¥iisAdmin.bat -set -key ⇒  
com.ibm.iis.infocenter.url -value http://<host>:<port>/help/topic/
```

### AIX® Linux

```
IS_install_path/ASBServer/bin/iisAdmin.sh -set -key ⇒  
com.ibm.iis.infocenter.url -value http://<host>:<port>/help/topic/
```

ここで、<host> はインフォメーション・センターがインストールされたコンピューターの名前、<port> はインフォメーション・センターのポート番号です。デフォルトのポート番号は 8888 です。例えば、デフォルト・ポートを使用するコンピューター server1.example.com 上の URL 値は、<http://server1.example.com:8888/help/topic/> になります。

## PDF およびハードコピー資料の入手

- PDF ファイルのブックはオンラインで利用可能で、サポートの文書 <https://www.ibm.com/support/docview.wss?uid=swg27008803&wv=1> からアクセスできます。
- IBM 資料は、オンラインでダウンロード、または IBM 担当員を通じてご注文いただけます。資料をオンラインでダウンロードするには <http://www.ibm.com/e-business/linkweb/publications/servlet/pbi.wss> の IBM Publications Center にアクセスしてください。

---

## 特記事項および商標

本書は米国 IBM が提供する製品およびサービスについて作成したものです。この資料は、IBM から他の言語でも提供されている可能性があります。ただし、ご利用にはその言語版の製品もしくは製品のコピーを所有していることが必要な場合があります。

### 特記事項

本書に記載の製品、サービス、または機能が日本においては提供されていない場合があります。日本で利用可能な製品、サービス、および機能については、日本 IBM の営業担当員にお尋ねください。本書で IBM 製品、プログラム、またはサービスに言及していても、その IBM 製品、プログラム、またはサービスのみが使用可能であることを意味するものではありません。これらに代えて、IBM の知的所有権を侵害することのない、機能的に同等の製品、プログラム、またはサービスを使用することができます。ただし、IBM 以外の製品とプログラムの操作またはサービスの評価および検証は、お客様の責任で行っていただきます。

IBM は、本書に記載されている内容に関して特許権 (特許出願中のものを含む) を保有している場合があります。本書の提供は、お客様にこれらの特許権について実施権を許諾することを意味するものではありません。実施権についてのお問い合わせは、書面にて下記宛先にお送りください。

〒103-8510  
東京都中央区日本橋箱崎町19番21号  
日本アイ・ビー・エム株式会社  
法務・知的財産  
知的財産権ライセンス渉外

以下の保証は、国または地域の法律に沿わない場合は、適用されません。IBM およびその直接または間接の子会社は、本書を特定物として現存するままの状態を提供し、商品性の保証、特定目的適合性の保証および法律上の瑕疵担保責任を含むすべての明示もしくは黙示の保証責任を負わないものとします。国または地域によっては、法律の強行規定により、保証責任の制限が禁じられる場合、強行規定の制限を受けるものとします。

この情報には、技術的に不適切な記述や誤植を含む場合があります。本書は定期的に見直され、必要な変更は本書の次版に組み込まれます。IBM は予告なしに、随時、この文書に記載されている製品またはプログラムに対して、改良または変更を行うことがあります。

本書において IBM 以外の Web サイトに言及している場合がありますが、便宜のため記載しただけであり、決してそれらの Web サイトを推奨するものではありません。それらの Web サイトにある資料は、この IBM 製品の資料の一部ではありません。それらの Web サイトは、お客様の責任でご使用ください。

IBM は、お客様が提供するいかなる情報も、お客様に対してなんら義務も負うことのない、自ら適切と信ずる方法で、使用もしくは配布することができるものとします。

本プログラムのライセンス保持者で、(i) 独自に作成したプログラムとその他のプログラム (本プログラムを含む) との間での情報交換、および (ii) 交換された情報の相互利用を可能にすることを目的として、本プログラムに関する情報を必要とする方は、下記に連絡してください。

IBM Corporation  
J46A/G4  
555 Bailey Avenue  
San Jose, CA 95141-1003 U.S.A.

本プログラムに関する上記の情報は、適切な使用条件の下で使用することができますが、有償の場合もあります。

本書で説明されているライセンス・プログラムまたはその他のライセンス資料は、IBM 所定のプログラム契約の契約条項、IBM プログラムのご使用条件、またはそれと同等の条項に基づいて、IBM より提供されます。

この文書に含まれるいかなるパフォーマンス・データも、管理環境下で決定されたものです。そのため、他の操作環境で得られた結果は、異なる可能性があります。一部の測定が、開発レベルのシステムで行われた可能性がありますが、その測定値が、一般に利用可能なシステムのものと同じである保証はありません。さらに、一部の測定値が、推定値である可能性があります。実際の結果は、異なる可能性があります。お客様は、お客様の特定の環境に適したデータを確かめる必要があります。

IBM 以外の製品に関する情報は、その製品の供給者、出版物、もしくはその他の公に利用可能なソースから入手したものです。IBM は、それらの製品のテストは行っておりません。したがって、他社製品に関する実行性、互換性、またはその他の要求については確認できません。IBM 以外の製品の性能に関する質問は、それらの製品の供給者をお願いします。

IBM の将来の方向または意向に関する記述については、予告なしに変更または撤回される場合があります、単に目標を示しているものです。

本書はプランニング目的としてのみ記述されています。記述内容は製品が使用可能になる前に変更になる場合があります。

本書には、日常の業務処理で用いられるデータや報告書の例が含まれています。より具体性を与えるために、それらの例には、個人、企業、ブランド、あるいは製品などの名前が含まれている場合があります。これらの名称はすべて架空のものであり、名称や住所が類似する企業が実在しているとしても、それは偶然にすぎません。

著作権使用許諾:

本書には、さまざまなオペレーティング・プラットフォームでのプログラミング手法を例示するサンプル・アプリケーション・プログラムがソース言語で掲載されて

います。お客様は、サンプル・プログラムが書かれているオペレーティング・プラットフォームのアプリケーション・プログラミング・インターフェースに準拠したアプリケーション・プログラムの開発、使用、販売、配布を目的として、いかなる形式においても、IBM に対価を支払うことなくこれを複製し、改変し、配布することができます。このサンプル・プログラムは、あらゆる条件下における完全なテストを経ていません。従って IBM は、これらのサンプル・プログラムについて信頼性、利便性もしくは機能性があることをほのめかしたり、保証することはできません。これらのサンプル・プログラムは特定物として現存するままの状態を提供されるものであり、いかなる保証も提供されません。IBM は、お客様の当該サンプル・プログラムの使用から生ずるいかなる損害に対しても一切の責任を負いません。

それぞれの複製物、サンプル・プログラムのいかなる部分、またはすべての派生的創作物にも、次のように、著作権表示を入れていただく必要があります。

© (お客様の会社名) (西暦年). このコードの一部は、IBM Corp. のサンプル・プログラムから取られています。© Copyright IBM Corp. \_年を入れる\_. All rights reserved.

この情報をソフトコピーでご覧になっている場合は、写真やカラーの図表は表示されない場合があります。

## プライバシー・ポリシーに関する考慮事項

サービス・ソリューションとしてのソフトウェアも含めた IBM ソフトウェア製品（「ソフトウェア・オファリング」）では、製品の使用に関する情報の収集、エンド・ユーザーの使用感の向上、エンド・ユーザーとの対話またはその他の目的のために、Cookie はじめさまざまなテクノロジーを使用することがあります。多くの場合、ソフトウェア・オファリングにより個人情報が収集されることはありません。IBM の「ソフトウェア・オファリング」の一部には、個人情報を収集できる機能を持つものがあります。ご使用の「ソフトウェア・オファリング」が、これらの Cookie およびそれに類するテクノロジーを通じてお客様による個人情報の収集を可能にする場合、以下の具体的事項を確認ください。

このソフトウェア・オファリングは、展開される構成に応じて、セッションごとの Cookie または永続的な Cookie を使用する場合があります。製品またはコンポーネントがリストされていない場合、その製品またはコンポーネントは Cookie を使用しません。

表 2. InfoSphere Information Server 製品およびコンポーネントによる Cookie の使用

製品モジュール	コンポーネントまたは機能	使用される Cookie の種類	収集するデータ	データの目的	Cookie の無効化
すべて (InfoSphere Information Server インストール済み環境の部分)	InfoSphere Information Server Web コンソール	<ul style="list-style-type: none"> <li>セッション</li> <li>永続</li> </ul>	ユーザー名	<ul style="list-style-type: none"> <li>セッション管理</li> <li>認証</li> </ul>	無効にできない

表 2. InfoSphere Information Server 製品およびコンポーネントによる Cookie の使用 (続き)

製品モジュール	コンポーネントまたは機能	使用される Cookie の種類	収集するデータ	データの目的	Cookie の無効化
すべて (InfoSphere Information Server インストール済み環境の部分)	InfoSphere Metadata Asset Manager	<ul style="list-style-type: none"> <li>セッション</li> <li>永続</li> </ul>	個人情報でない	<ul style="list-style-type: none"> <li>セッション管理</li> <li>認証</li> <li>拡張されたユーザーのユーザビリティ</li> <li>シングル・サインオン構成</li> </ul>	無効にできない
InfoSphere DataStage®	Big Data File ステージ	<ul style="list-style-type: none"> <li>セッション</li> <li>永続</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ユーザー名</li> <li>デジタル署名</li> <li>セッション ID</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>セッション管理</li> <li>認証</li> <li>シングル・サインオン構成</li> </ul>	無効にできない
InfoSphere DataStage	XML ステージ	セッション	内部 ID	<ul style="list-style-type: none"> <li>セッション管理</li> <li>認証</li> </ul>	無効にできない
InfoSphere DataStage	IBM InfoSphere DataStage and QualityStage® Operations Console	セッション	個人情報でない	<ul style="list-style-type: none"> <li>セッション管理</li> <li>認証</li> </ul>	無効にできない
InfoSphere Data Click	InfoSphere Information Server Web コンソール	<ul style="list-style-type: none"> <li>セッション</li> <li>永続</li> </ul>	ユーザー名	<ul style="list-style-type: none"> <li>セッション管理</li> <li>認証</li> </ul>	無効にできない
InfoSphere Data Quality Console		セッション	個人情報でない	<ul style="list-style-type: none"> <li>セッション管理</li> <li>認証</li> <li>シングル・サインオン構成</li> </ul>	無効にできない
InfoSphere QualityStage Standardization Rules Designer	InfoSphere Information Server Web コンソール	<ul style="list-style-type: none"> <li>セッション</li> <li>永続</li> </ul>	ユーザー名	<ul style="list-style-type: none"> <li>セッション管理</li> <li>認証</li> </ul>	無効にできない
InfoSphere Information Governance Catalog		<ul style="list-style-type: none"> <li>セッション</li> <li>永続</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ユーザー名</li> <li>内部 ID</li> <li>ツリーの状態</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>セッション管理</li> <li>認証</li> <li>シングル・サインオン構成</li> </ul>	無効にできない
InfoSphere Information Analyzer	InfoSphere DataStage and QualityStage Designer クライアントの中の Data Rules ステージ	セッション	セッション ID	セッション管理	無効にできない

この「ソフトウェア・オファリング」が Cookie およびさまざまなテクノロジーを使用してエンド・ユーザーから個人を特定できる情報を収集する機能を提供する場合、お客様は、このような情報を収集するにあたって適用される法律、ガイドライ

ン等を遵守する必要があります。これには、エンドユーザーへの通知や同意の要求も含まれますがそれらには限られません。

このような目的での Cookie を含むさまざまなテクノロジーの使用の詳細については、IBM の『IBM オンラインでのプライバシー・ステートメント』 (<http://www.ibm.com/privacy/details/jp/ja/>) の『クッキー、ウェブ・ビーコン、その他のテクノロジー』および『IBM Software Products and Software-as-a-Service Privacy Statement』 (<http://www.ibm.com/software/info/product-privacy>) を参照してください。

## 商標

IBM、IBM ロゴおよび [ibm.com](http://www.ibm.com)<sup>®</sup> は、世界の多くの国で登録された International Business Machines Corporation の商標です。他の製品名およびサービス名等は、それぞれ IBM または各社の商標である場合があります。現時点での IBM の商標リストについては、<http://www.ibm.com/legal/copytrade.shtml> をご覧ください。

以下は、それぞれ各社の商標または登録商標です。

Adobe は、Adobe Systems Incorporated の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

Intel、Itanium は、Intel Corporation または子会社の米国およびその他の国における商標または登録商標です。

Linux は、Linus Torvalds の米国およびその他の国における登録商標です。

Microsoft、Windows および Windows NT は、Microsoft Corporation の米国およびその他の国における商標です。

UNIX は The Open Group の米国およびその他の国における登録商標です。

Java<sup>™</sup> およびすべての Java 関連の商標およびロゴは Oracle やその関連会社の米国およびその他の国における商標または登録商標です。





---

## 索引

日本語, 数字, 英字, 特殊文字の順に配列されています。なお, 濁音と半濁音は清音と同等に扱われています。

**I**  
IBM Installation Manager  
インストール済み製品パッケージの変更 6

### [ア行]

インストール  
既存のアプリケーションへ 3  
新規インストール  
    スタンドアロン・アプリケーションとして 1  
    スタンドアロン・アプリケーションとして 1  
    タスク管理との統合 1  
InfoSphere Blueprint Director 1  
インストール済み製品パッケージ  
    変更方法 6  
お客様サポート  
    連絡先 9

### [サ行]

サポート  
    お客様 9  
シェア共有  
    IBM InfoSphere Data Architect とのインストール 3  
    IBM Rational Software Architect とのインストール 3  
    IBM Rational Team Concert とのインストール 3  
商標  
    リスト 13  
スタンドアロン・アプリケーション  
    インストール 1  
製品資料  
    アクセス 11  
製品のアクセシビリティ  
    アクセシビリティ 7  
ソフトウェア・サービス  
    連絡先 9

### [タ行]

タスク管理の統合  
    インストール 1  
    既存のインストール済み環境における使用可能化 5  
特記事項 13







Printed in Japan

SC43-0997-00



日本アイ・ビー・エム株式会社  
〒103-8510 東京都中央区日本橋箱崎町19-21